

ルクセンブルク経済・金融情勢（2012年5月）

【トピック】

- ・ EU財務相会合（ECOFIN）において、フリーデン財務相が情報の自動交換を趣旨とする貯蓄課税指令の改正案に反対。
- ・ 呉邦国・中国全人代常務委員長が当国を訪問し、ユンカー首相らと会談し、二国間の経済・貿易関係などについて議論。
- ・ 石川県知事が経済ミッションとともに当国を訪問。

1. 製造及び建設セクター

製造セクター

景気動向調査によると、悲観的な見方が11年半ば以降広がっており、12年4・5月期においてもその傾向が拡大している。生産傾向、注文数、雇用の見込みの全ての項目で急落が見られ、在庫レベルは過剰となっている。

建設セクター

12年第1四半期の集合住宅販売価格はわずかに低下（11年第4四半期に比べ0.4%低下）。前四半期の価格急上昇を修正したものと見られる。12年第1四半期の集合住宅の平均販売価格は前年同期に比べ5%以上上昇。上昇幅は新築、中古にほとんど差はない。

2. 金融セクター

- (1) 12年4月末現在銀行資産残高は7,841億ユーロ。
- (2) 12年5月末現在銀行数は143行。
- (3) 12年5月末現在投資信託残高は2兆2120億ユーロで、前月比0.61%減。

3. 雇用情勢

- (1) 12年5月の季節調整済み失業率は6.1%（推計値）。
- (2) 11年の企業倒産に伴う失業者数は前年より17%多い3300人。倒産件数は約1000社に上り、倒産件数、それに伴う失業者数ともに記録的な数字となった。

4. インフレ

- (1) 12年5月のインフレ率は2.5%（前月同2.7%）。
- (2) 年初に石油価格が急騰したが、3月のピーク以降26%下がり、1バレル=100米ドルを切った。これを受け、当国でもディーゼルやガソリンの価格が1リットル当たり10セント程度下がった。

※ 当国政府機関（統計局等）の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。